

特集

# 夏の岩津天神

初夏、ぷつくりと膨んだ梅の実がたわわに実ります。



で五年目を迎えますが、参加された皆さんからは、自然を身近に感じ一粒一粒の大切さを改めて実感しますとの感想を頂いています。

さてこのように多くの労力をかけ採取した梅は職員総出できれいに洗い塩漬けにし、梅干しにいたします。夏の天日で干し上げる「福梅」は岩津の天神様のおさがりとして社頭にて授与しています。



**雀初祭**◎五月二十六日(土)午前十時より  
境内にて雀初、のちに祭典を執り行います

**余香殿「梅もぎ体験」ご奉仕**

◎六月十日(日)

午前九時半より正午まで梅もぎご奉仕

◎募集数／三〇名

◎参加受付／余香殿なおらい岩津天満宮拝殿西)に申込用紙を用意して頂きます。必要事項をご記入の上、参加費を添えて余香殿なおらいへ直接お申し込みください。

◎参加費／大人：二千円(お土産／天神さんの梅) ●小・中学生：八〇〇円(お土産／同) ●未就学児：無料(お土産は付きません)



昨年の梅もぎ体験ご奉仕の様

◎締め切り 五月三十一日(木)※但し定員に達し次第締め切ります。  
◎余香殿なおらい ☎0564(45)1144



夏越しの祓いの模様

## 雀初祭 五月二十六日 もぎぞめさい



雀初祭の様

纏い、初夏の日差しに輝いています。

雀初祭は、境内約四〇〇本の梅の木から実を採り始める、実りの感謝と収穫を天神様にお願ひするお祭りです。神職や総代の皆さんが揃い、青竹で梅の枝をとんとんと軽く叩きます。ぷつくりと実った梅の実はごろごろと面白い様に枝を離れます。採取した梅の実には三方に盛り、御神前に神饌としてお供え申し上げます。



天神様に梅の実をお供えします

皐月は早苗を植える月。水を満たした田に緑も鮮やかな苗を植える頃を表現しています。  
天神山の木々はとりどりの緑を

## 水無月(六月)二十四日 夏越しの祓い 輪くぐり神事

夏の日差しで田の水も干上がるから水無月。一方、「無を」の」と読み、水の月。すなわち、田に水を引く月、という説も有ります。今の暦の感覚で言うなら後者でしょうか。そして水無月と言うと、「水無月の夏越しの祓いする人は千歳の命のぶというなり」という歌が浮かんで参ります。

岩津の天神さんでは六月の下旬、石段を上がりきった所に大きな茅の輪を設け、夏越しの祓い輪くぐり神事を執り行います。茅の輪をくぐることで、正月からの半年間の罪や穢れを祓い、この後の半年も健康で過ごせる様祈ります。「千歳の命のぶ」というくぐりに、健康への強い願いを感じます。

この茅の輪にはこんな故事が伝わっています。『神代の昔。旅の途中にあつたスサノオノミコトを、蘇民将来は真心をこめてもてなします。ミコトはその誠に報いるためこう告げます。『疫病が流行したら、腰に茅の輪をつけよ』

ミコトのお告げ通りにした蘇民将来は、疫病にかかるとなく息災に過ぎました。』  
以来、病を得やすい夏を前にして、茅の輪をくぐることで健康を祈願することになりました。



無病息災を祈ります